

第3回 「学校評議員会」議事録

日 時：平成 29 年 2 月 16 日(木) 16：00～

会 場：小会議室

参加者：評議員 井上 美奈子 (健康科学大学教授)
(敬称略) 太 田 敏 夫 (前 P T A 会長)
三 井 恵 司 (下吉田中学校校長)
穂 坂 路 男 (勝山診療所院長)
前 田 市 郎 (株式会社前田源商店代表取締役)

(敬称略)

本校教職員

校 長 坂 本 明 大
事務長 廣 瀬 三 二
教 頭 小 佐 野 景 賀
教 頭 小 俣 義 一

広報情報部副主任 堀 内 伸 (記録)

1 校長挨拶

- ・ 3 回目で最終回となりましたが、一年間のご支援ありがとうございました。
- ・ 部活動等では、まずまずの成果を上げることができました。
- ・ 強歩大会では、天候が危ぶまれた中、スタート時までには雨も上がり、無事に大会を終了することができました。
- ・ 3 年生の進路については、私学受験の真っ只中であり、また国公立 2 次に向けて取り組んでいる最中です。
- ・ 教職員の健康面についても、インフルエンザの罹患等が若干あったものの、大過なく一年を終えることができそうです。
- ・ 今後も、教師の「授業改善」や生徒の「主体的な学習」を推し進めて参りますので、アドバイスをお願いする次第です。

2 学校評価について

教頭：(資料説明)

校長から

- ・ アクティブ・ラーニングについてですが、これは知識の積み上げにこだわらず、知識を活用しての学習に取り組んでいくことを目指しています。
- ・ 頭を使って考えるだけでなく、他者とのやりとりも踏まえて学習に取り組む指導を行っていきます。

*評議員

- ・講師を務めている大学においては、グループ学習を通じて、調べ・考えての学習を繰り返し実施している。
- ・受け身の学習から、自ら動いての学習へと切り替わってきたのがわかる。
- ・高校で全てを行うのは難しいが、大学へ行ってからの学習には役立つのではないでしょう。
- ・グループ学習は、コミュニケーション能力を高めますからね。

*評議員

- ・基礎知識の定着が、やはり大切だとは思われる。
- ・大学での学びに繋げるためにも、基礎基本的な能力をつけておくことが必要ですね。
- ・苦しいことを乗り越える力を身につけてほしいです。学習は苦行でもありますからね。

*評議員

- ・授業参観の折に、授業への取り組みが真摯であると感じました。授業にもよりよい緊張感がありました。
- ・ICTの活用に関連して、これからの社会では必要になってくるので、指導の面でも充実させていってほしい。
- ・いろいろな場面で、他者を思いやる心を育てていることはアンケート結果から感じられる。

*評議員

- ・生徒・保護者と教員との意識の差もある。勉強以外でも情緒的な経験が必要である。
- ・学習と部活の両立はたいへんだが、保護者・教職員のサポートと生徒本人の努力で前向きに取り組んでいるように見受けられる。
- ・しかし、健康面や規則正しい生活に気をつけてほしい。特に睡眠時間の確保は課題となるのではないか。
- ・多様化する生徒に対しては、個々の状態や特性に合わせた指導が必要となる。

※HPの活用によって学校を身近に感じている。

※今後も尚一層、しっかり取り組んでいってほしい。

3 その他（校長からお礼の言葉）

「評議員の皆様ありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。」

～以 上～